

赤ちゃん和小・中・高校生とのふれあい交流

ハートフルママ（次世代育成応援団）

〒113-0044 東京都北区十条台1-7-13 東京成徳短期大学 寺田研究室

助成事業の概要

本事業の目的は、小・中・高校生と赤ちゃんとの効果的な触れ合いを行うために、両者を結ぶ役割を持つ保育者（ここでは「ファシリテーター」と表記）がどのように配慮をするべきかについて実践活動をするとともに、調査研究をすることである。

そこで、これから保育者になる養成校の学生や保育者に「ファシリテーター養成研修」を実施した。

昨年、3回、小・中学生と乳幼児を結ぶファシリテーター養成研修をNPO次世代サポートと寺田らが実施し、延べ207人が参加した。本実践研究「赤ちゃん和小・中・高校生とのふれあい交流事業実践研究」は、その講座に参加した方々がファシリテーターとして実際に赤ちゃん和小・中・高校生とのふれあい交流授業を体験する中でどのような気づきがあったのか。昨年度のファシリテーター養成研修後のアンケートの分析等も交えて報告する。

事業の成果

講座に参加した方からのアンケート結果によると、学生たちからは、ファシリテーターという存在の意義や重要性とともに、乳幼児やその母親に対する理解や関心が深まったという感想が多く見られた。保育を学ぶ学生として、授業での学びを再確認したり、親子や保育者に実際に接してより実践的に相手のことを知りたいといった意欲を高

めている様子も覗かれた。

また、ロールプレイについても、その難しさを指摘する一方で、その行為によって自らの気づきや学びが得られたことも多く報告された。

母親への影響については、学生・一般参加者ともに様々な側面からの肯定的な影響が挙げられ、その内容についても、母親の不安軽減や孤立防止、子育てに対する楽しさや意欲の向上など、共通するものも多く見られた。

全体を通して、参加者は自身の学びと社会的意義の両面から、本講座の実施および参加を肯定的に捉えていることが示された。さらに、今後もさらに学びたいという意見も学生・一般参加者双方に見られた。受講生は、今後関わる小中学生は赤ちゃんに触れ合うことの楽しさや命の大切さを知り、子どもを産み育てたいと思う感情が高まり少子化への歯止めと子どもを見守る地域連携の輪が予想される。

つまりファシリテーター養成研修受講後に実際に赤ちゃんとのふれあい授業を担当することの効果は高いと考察する。

今回、本研修以後も多くの方からの参加希望や内閣府少子化対策担当企画官や読賣新聞記者、福祉新聞記者からの問い合わせや取材を受けた。

このことは本事業のテーマや内容が先駆的要素を含んでおりパイロット性のあることが提示されたと感じる。

成果の広報・公表

本研究 「赤ちゃん和小・中・高校生とのふれ

あい交流事業実践研究」の一環である、原宿外苑中学校での赤ちゃんとの中学生とのふれあい授業の様子は、中高生讀賣新聞（2017年6月）に紹介され、ファシリテーターの学生の様子や寺田の記事も紹介された。また福祉新聞（2017年6月）にも掲載されたことから青梅市やこどもの国・秋田県保育団体・広島県等多くの方から問い合わせを受けた。

環境福祉学会年次大会（2016年11月）にて赤ちゃんとのふれあい交流事業を展示公開したブースに 内閣府子ども・子育て本部少子化対策担当企画官吉田氏が視察に来られたことがきっかけとなり、2017年地域少子化対策重点推進交付金5.7億円に「乳幼児との触れ合い体験」が計上され、本事業の様子が「乳幼児触れ合い体験関連資料」の中で紹介された。その資料は、全国の自治体に配布された。

このことがきっかけとなり、世田谷、品川、石川でも活発な活動が開始され、2018年度も同様に同額が予算化されることが決まった。2017年環境福祉学会年次大会や福岡、兵庫、香川、東京においても本研究の報告を実施した。

■ 今後の展開

集合研修 「小・中学生と乳幼児を結ぶファシリテーター養成研修」受講終了生に2017年に実施した「中学生と赤ちゃんとのふれあい授業」に参加頂いた。その経験を活かしてロールプレイなど振り返り研修会を実施する。

筆者共催の品川区でのファシリテーター養成講座は10年間継続し参加した児童生徒は10万人を超えた。このファシリテーター90名も含めたブラッシュアップ研修を実施していく。

今後予定されている保育士やあかちゃんとふれあいサポーター対象研修の中で当研究の報告会を実施する。保育者養成校教員や子育てNPO・サロ

ンスタッフに向けても報告説明会を実施し、地域拠点子育て支援事業活動のひとつとして、ファシリテーターの役割について理解と重要性を広めていく。

保育関連学会・環境福祉学会・学術雑誌に成果を論文としてまとめ、投稿するとともに、保育所職員や幼保連携認定こども園職員・児童館職員・子育て支援センター職員等に参考になるような講演や研修会を実施し伝えていく。